

2022年12月21日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について  
(住友化学株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、住友化学株式会社(代表取締役社長:岩田 圭一、以下「住友化学」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPTs」)」を設定し、貸付条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への準拠性および設定したKPIとSPTsの合理性について第三者意見(※2)を取得しています。




当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<住友化学について>

住友化学は、2021年12月に2050年カーボンニュートラル実現に向けたグランドデザインを策定し、住友化学グループ(住友化学および国内外の連結子会社を対象)の温室効果ガス(GHG)排出量を2013年度比で2030年度までに50%削減、2050年までにカーボンニュートラルの実現を公表しています。カーボンニュートラルの実現に向け、総合化学企業として培ってきた技術力と知見を生かして科学的・論理的・定量的に裏付けされた取り組みを推進しており、2030年度目標(2030年度までに住友化学グループにおけるScope1+2の温室効果ガス排出量を2013年度比50%削減)を本件のSPTsとしています。

< KPI および SPTs の概要 >

本件は、以下の KPI と SPTs を設定しています。

KPI	SPTs	SDGs
住友化学グループの GHG 排出量 (Scope 1+ Scope2)	住友化学グループの GHG 排出量 (Scope 1 + Scope 2) を 2030 年度までに 2013 年度対比 50%削減	  

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則等への準拠性および設定した KPI と SPTs の合理性についての第三者意見  
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上